



視 察 研 修 等 報 告 書

令和6年6月25日

坂井市議会

議 長 戸 板 進 殿

会 派 名 政友会
報 告 者 辻人志

1. 日 時 令和6年5月23日(木)～令和6年5月24日(金)
2. 視察研修先 (1) 参議院議員会館(東京都千代田区永田町2丁目1-1)
(2) 東京ビッグサイト(東京都江東区有明3丁目11-1)
3. 視察研修内容 (1) キャッシュレス決済に関するレクチャー
(2) 防火安全対策に関するレクチャー
(3) 2024NEW環境展の視察
4. 参加者 川畑孝治、辻人志

5. 内容詳細

(1) キャッシュレス決済に関するレクチャー

坂井市内において、キャッシュレス決済の導入を行ったものの決済手数料の負担が大きいと現金決済に回帰してしまう業者が散見されるため、キャッシュレス決済の中小店舗への普及促進に向けた国の環境整備などについて経済産業省と金融庁の担当官からレクチャーを受けた。

クレジットカード決済については、中小の事業者から加盟店手数料を引き下げてほしいという要望が強いことから、国からイシューア(カードを発行する会社)に対して手数料の透明性を高めるよう求めたところ、2022年から23年にかけてイシューアから標準料率が公開されたため、今後は加盟店とアクワイアラー(お店と契約する会社)との価格交渉が促進され、それが加盟店手数料の引き下げにつながる事が期待されるところのことだった。

PayPay決済については、安全に使えるための環境整備に係わる経費が膨大であることから、加盟店手数料の引き下げに至っていないようで、そのため金融庁から事業者(加盟店)にメリットを丁寧に説明しているとのことだった。

いずれにしてもキャッシュレス決済は、店舗にとってレジにおける手間や売上金計算の時間の短縮、人手不足の解消など直接金額に現れないメリットも多いため、加盟店は現行の手数料を払ってでも導入する価値があるとのことであった。

(2) 防火安全対策に関するレクチャー

市内のイベントや市役所のお昼休みなどにキッチンカーに来ていただいているが、防火上の規制もあり来場を躊躇するキッチンカーが見られたことから、自治体の火災予防条例（坂井市は嶺北消防組合火災予防条例）におけるキッチンカーの位置づけなどについて消防庁の担当官からレクチャーを受けた。

2013年8月15日に京都府福知山市花火大会で発生した火災をきっかけに、全国の自治体で火災予防条例の一部が改正され、「多数の者の集合する催し」を開催する際に、対象火気器具等（灯油やガソリンなどの液体燃料、プロパンガスなどの気体燃料、薪や炭などの固体燃料を使用する器具等、または電気を熱源とする器具等）を使用する露店等を開設する場合は、あらかじめ所轄消防署長へ露店等の開設届出書の提出が必要となった。

「多数の者の集合する催し」とは、祭礼、縁日、花火大会、展示会等のように、一時的に一定の場所に不特定多数の者が集まるイベントや行事のことをいい、幼稚園の運動会や学校祭、近親者によるバーションなど集まる者が相互に面識があったり、集まる者の範囲が個人的なつながりにとどまったりする場合はこれに含まれない。なので、お昼休みの市役所敷地内に設置されるキッチンカーも含まれないとのことだった。

条例はイベントを対象としているわけで、キッチンカーそのものに規制をかけているわけではなく、さらに条例が要求しているのはあくまでも「届出」であり、許可・不許可を審査するものないので、所管の消防署がイベント時に審査するようなことでないとのことだった。

(3) 2024 NEW環境展の視察

環境展は様々な環境技術・サービスを一堂に展示情報発信することにより環境保全への啓発を行い、国民生活の安定と環境関連産業の発展を目的としている。

現代社会は環境との共生が求められており、国連が定める「SDGs」の推進にむけ環境汚染問題や地球温暖化問題の解決は避けて通れない課題であるため、自治体においても資源の有効利用や新エネルギー・省エネルギーの推進、CO₂排出削減技術を活用することによって、環境・温暖化対策を講じるべきであると考え環境展の視察を行った。

今回も地球温暖化防止展が同時開催され、脱炭素・カーボンニュートラルや節電・省エネ対策をテーマにした展示が行われていたが、最近の気候状況を反映して猛暑対策に特化した展示も見られた。

6. 所見・感想等

●川畑孝治議員

(1) キャッシュレス決済に関するレクチャー

坂井市においては、コロナ対策給付金や地方創生給付金などを活用して、これまで6回のキャッシュレスキャンペーンを行って来ており、回を重ねるに従い販売金額の増加、キャンペーン前後の月においても販売金額が増加している。

今回、市内小売店関係者より、キャッシュレス決済の手数料などについて、決済ツールが多い、手数料が高いと意見・要望があり、今回経済産業省と金融庁からレクチャーを受けた。

現在、キャッシュレス決済のツールはペイペイ、AUペイ、楽天ペイなど多く煩雑である、又手数料においても利益に対する手数料ではなく、販売金額に対する手数料なので小売業者によっては、負担も大きく、キャッシュレス決済を辞める業者もいる。

レクチャーでは、ペイペイでも現在赤字状態との事で、手数料よりも、現金を触らなくても良い、レジの集計など、キャッシュレスのメリットを伝えて欲しいとの事で有った。

坂井市に於いても7回目のキャッシュレスキャンペーン事業が行われることを期待したい。

(2) 防火安全対策に関するレクチャー

坂井市はキッチンカー取得に対して補助を行い、各地でのイベントや地区の祭りなどで活躍が見られる。

市役所横においてキッチンカーが来ている時に、消防職員による検査を行っており、説明では祭りなどの屋台と同じだからとの説明で、納得できずに今回、消防庁予防課よりレクチャーを受けた。

レクチャーでは、キッチンカーでの届や検査は不特定多数の人が集まる事に対する届との事で有り、過去に花火大会での事故を踏まえてのことで、来客者が特定の人・人数で有れば消防への届も検査も必要ないとの事であった。

先日、市役所横でのキッチンカーが来ていた時には、消防の検査は行われていないとの事で、今後において、市内各地でのキッチンカーの活躍を期待したい。

(3) 2024NEW環境展の視察

今回の展示会では、太陽光発電パネルに関するブースが目についた。

太陽光発電パネルが寿命を迎えようとしていることから、パネルのリサイクルに向けた機械が展示や映像によって紹介されていた。廃棄パネルの外枠を外し、ガラス面とセルを分けそれぞれリサイクルを行うもので、あるメーカーにおいては最終処分場への廃棄物がゼロとの事であった。

また、福井県内へも廃棄パネルの処理機械が納入されており、今後県内においても、廃棄パネルの処理が可能になるのではないかと感じた。

8月の広域圏組合議会で、廃棄パネルについて一般質問を予定していたので大いに参考になった。

市内の業者より廃棄されている発泡スチロール処理について相談されており、今回注視していたが従来からの、粉碎し熱により板状や棒状に加工しリサイクルする形式

の展示ばかりで、電気料金が高騰している今日、ランニングコストが課題と感じた。

ゴミ収集車で、計量器の付いた車両が有り、回収量をその場で測定記録が出来ていた。この収集車を使うと、排出事業者から排出量に見合った処理料金が算出することができ、実情に合った処理費用の負担となるので、公平な対応が可能になると感じた。

●辻人志議員

(1) キャッシュレス決済に関するレクチャー

加盟店手数料の負担が少くないということで、店舗から引き下げの要望があることは承知しているが、キャッシュレス決済によって様々なキャンペーンや業務の効率化が図られるのは店舗にとって大きなメリットだと考える。

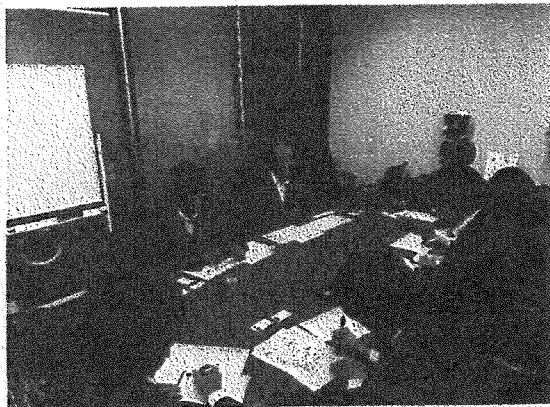
今後において坂井市がPay Payキャンペーンを継続的に行うなどの施策を行うことによって、キャッシュレス決済を行う店舗が増え、それによって売上の向上や消費拡大につながっていくと思う。

(2) 防火安全対策に関するレクチャー

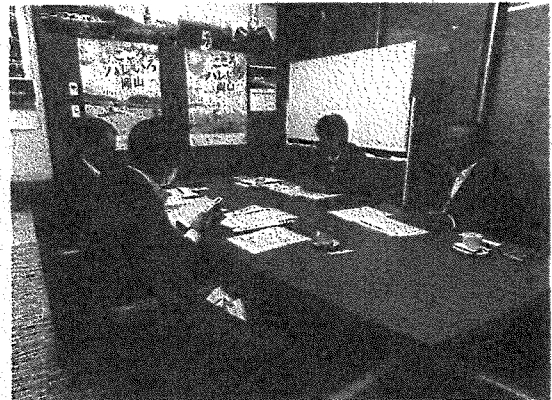
祭礼やイベントなどでキッチンカーの需要は多く、今後も増え続けると予想される。市においてキッチンカーに助成を行い、それによって火災予防対策が図られ、キッチンカーの普及につながることを期待したい。

(3) 2024 NEW環境展の視察

東京都調布市のメーカーによる省電力除湿冷暖装置「インコンフォート」に着目したい。井戸水や工業用水などの自然エネルギーを有効活用した空調装置で、従来の業務用エアコンと比べて電気代の大幅節約になるほか、排熱もないためヒートアイランド対策やCO₂の大幅削減にもつながるとのことだった。今後同社による新機種の開発にも期待したいと思う。



▲経産省・金融庁レクチャー



▲消防庁レクチャー



▲NEW環境展

会派内供覧